

9.19 東京・明治公園 「さようなら原発5万人集会」に参加!

9月19日13時より、東京・明治公園「さようなら原発5万人集会」にJR総連をはじめ、JR東海労の仲間と共に、新幹線関西地本の5名が集会に参加しました。

この「さようなら原発5万人集会」は、脱原発を目指して作家の大江健三郎、坂本龍一、澤地久枝、落合恵子、鎌田 慧、辻井喬、鶴見俊輔、内橋克人、瀬戸内寂聴さんなど9名が呼びかけて開かれ、主催者発表では全国から約6万人が参加しました。

(9月20日 中日新聞より)



脱原発の集会でプラカードなどを手に会場を埋め尽くす参加者たち。19日、東京都新宿区の明治公園で（写真：撮影）

脱原発を目指して作家の大江健三郎さんが呼び掛けた「さようなら原発5万人集会」が十九日、東京・明治公園で開かれ、約六万人（主催者発表）が原発依存社会からの脱却を訴えた。『関連動画』
集会以、大江さんが「私には民主主義の集会や市民のデモしかない。しっかりとやりましょう」と呼び掛けると、会場からは地鳴りのような拍手がわき起こった。
作家の落合恵子さんは参加者に「あなたたちに会えたきっかけを考えると腹立たしくてならない」と語り掛けた。
その上で「放射性廃棄物の処理能力もない人間が、原発を

6万人「脱原発」コール 東京

持つべきでない」と原発不要論を唱えた。
集会后は福島県民らを先頭に「再稼働させるな」「子どもたちを守ろう」とシチュレビコールを上げ、都心を歩いた。
大江さんは東京電力福島第一原発事故を受け、来年三月までに脱原発を求め、一千万人分の署名を政府と国会に提出する計画。主催者によると、署名は現在百万人に達しているという。
集会は原水爆禁止日本国民会議（原水禁）が中心となって結成した「さようなら原発1000万人アクション実行委員会」が開催。監視庁は参加者を三万人弱としている。

**名古屋車両所
分会も参加！
JR東海労
からは50名
が結集！**